

2021年2月24日

## 丸橋鉄工×セノー 防災対策品に関する共同開発契約を締結 コンセプトモデル『ベンチ・ベッド』を発表

総合スポーツ器具メーカー「セノー株式会社」（本社：千葉県松戸市 代表取締役社長：尾崎徹也）は、「株式会社丸橋鉄工」（本社：群馬県前橋市 代表取締役社長：丸橋哲郎）と防災対策品に関する共同開発契約を締結し、コンセプトモデルとなる変幻自在な万能椅子『ベンチ・ベッド』を発表しました。

自然災害が起こった時、避難所とされている学校の体育館や町の公民館などでは、安心・安全やパーソナルスペースが確保された過ごしやすい環境作り、また近年では感染予防対策など様々な対策が施されています。その避難所では地面にシートや段ボールを敷いて座っている人が多く見受けられます。こういった状況から避難所では今、「椅子が必要とされているのではないか」。そして「その椅子がただの椅子ではなく、様々な使い方が出来れば皆様のお役に立てるのではないか」。このような我々の考えのもと、『ベンチ・ベッド』を開発するために共同開発契約を結ぶこととなりました。

この『ベンチ・ベッド』は群馬県と前橋市から支援をいただき、地域の皆様へ安心・安全提供の一助となるために開発されました。素材にもこだわり、ポリエステル繊維とラッセル編み組織を使用し、燃えにくく、高いクッション性と通気性を備えています。この『ベンチ・ベッド』はベンチとしてだけでなく、ベッドやテーブル、担架としてもご利用いただけます。この取り組みが成功した場合、丸橋鉄工とセノーは、更に将来に向けた広範な提携を展開していく予定です。



## SENOH NEWS RELEASE



商品名：ベンチ・ベッド

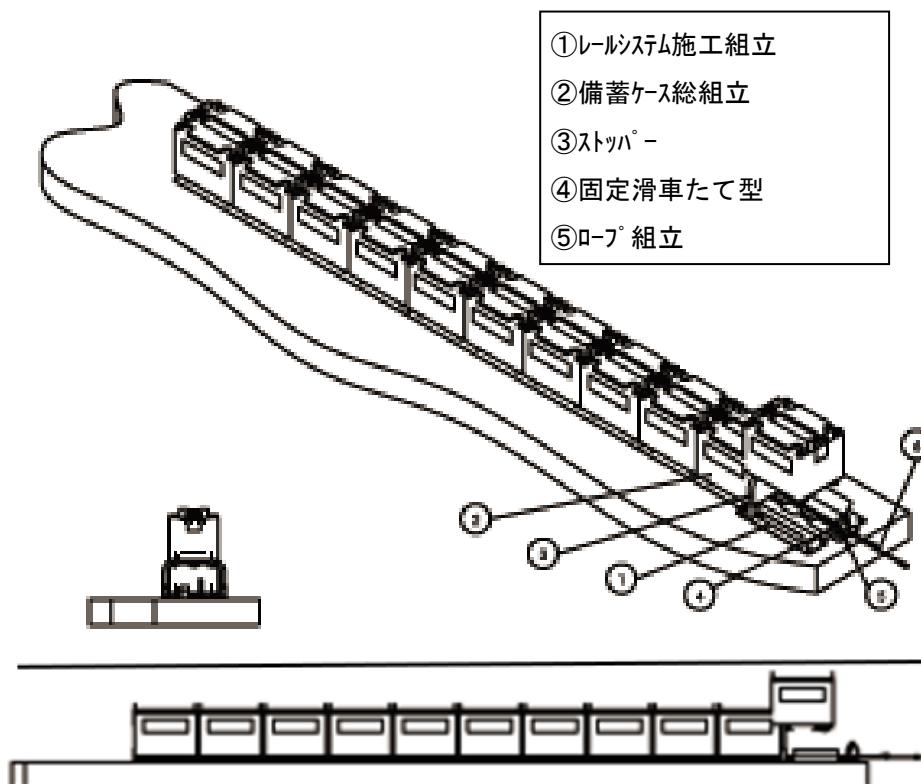
素材：  
(背・座) エアラッセル／ビニールレザー  
(フレーム) スチール／焼付塗装  
(座面カバー) レザー  
(裏面カバー) ポリエステル 100%

特長：用途に合わせて5つの形に変化。災害時にも活躍。

また、セノ一株式会社と株式会社丸橋鉄工では『ベンチ・ベッド』以外にも、災害備蓄品の収納台車『備蓄トラック』の共同開発も行っております。『備蓄トラック』は、避難所・避難場所になっている体育館や公民館の床下を災害備蓄品の収納スペースとして有効に活用するための収納台車になります。点検口を使い床下のスペースを活用することで、新たに場所を設ける必要がなくなり、避難された方にもタイムリーな物資の供給が可能になります。備蓄量が増えれば増えるほど、避難者数や避難日数を増やすことができます。

今後も起こり得る自然災害に備え、皆様の安心・安全に貢献する製品づくりに努めて参ります。

### ◆MT備蓄トラック イメージ図



セノ一株式会社 <https://www.senoh.jp/>

株式会社丸橋鉄工 <http://www.maruhashi.co.jp/>

## 【会社概要】

会社名：セノ一株式会社

本社：千葉県松戸市松飛台 250 番地

創業：明治 41 年 4 月 1 日 創業 112 年

代表：代表取締役社長 尾崎 徹也

事業内容：体育施設機器・器具の開発・設計・施工・販売（競技スポーツ・フィットネス・福祉）施設サービス

事業（体操、バレー、バスケ、バドミントンなど）／健康サービス事業／メンテナンス事業／海外事業

URL：<https://www.senoh.jp/>

## 【製品に関するお問い合わせ先】

製品やサービスに関するお問い合わせページ

<https://www.senoh.jp/contact/>

（報道関係者のお問合せ先）

マーケティング本部 企画マーケティング課

日吉 野乃子

TEL：047-385-9110

E-mail：[hiyoshi-n@senoh.co.jp](mailto:hiyoshi-n@senoh.co.jp)